

# 土砂防がだより



茶畑と富士山(富士市)

- 新年度の御挨拶..... 2
- 令和6年度の行事予定 ..... 3
- ・がけ崩れ防災週間 ・土砂災害防止月間
- 令和6年度砂防関係当初予算** ..... 4
- 土砂災害警戒区域等の候補箇所の抽出 ..... 6
- 土砂災害警戒情報の精度向上 ..... 7
- あなたのまちの安全度** ..... 8
- 「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰**..... 10
- わがまち(東伊豆町) ..... 13
- 歴史探訪 農山村を救った砂防事業
- インフォメーション ..... 14
- お知らせ ..... 16

**速報** 令和6年度 砂防関係当初予算

**特集** あなたのまちの安全度

**「土砂災害防止に関する絵画・作文」  
優秀作品の表彰**



# 新年度の御挨拶

陽春の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

4月1日付けで静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課長を拝命しました杉山 一仁です。このたび、全国治水砂防協会静岡県支部の常任幹事に就任いたしましたので、よろしく申し上げます。

昨年、全国では約1,400件の土砂災害が発生し、6月上旬の台風2号では本県や和歌山県、愛知県などに、7月上旬の豪雨では西日本を中心に、9月の台風13号では千葉県、茨城県、福島県などで土砂災害により多くの被害が発生しました。

本県におきましては、台風2号などにより、59件の土砂災害が発生し、1名の方がお亡くなりになったほか、負傷者1名、住宅被害13戸など甚大な被害が生じました。

これらの土砂災害のうち、地すべりが発生した浜松市天竜区長沢地区と静岡市葵区諸子沢地区の2箇所、かけ崩れが発生した浜松市北区細江町気賀地区については、災害関連緊急事業により、地域住民の安全・安心のため早期の工事完了に努めてまいります。

県では、頻発する土砂災害から県民の生命と財産を守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などを活用し、ハード対策とソフト対策の両面から総合的な土砂災害対策を集中的に推進しています。

加えて、要配慮者や過去に土砂災害を受けた地区及びライフライン施設等を土砂災害から守るため、「豪雨等災害対策緊急事業」等により、緊急的、集中的に土砂災害防止施設の整備を推進してまいります。

早めの避難につながるソフト対策については、3次元点群データ等新たな測量技術を活用し、土砂災害警戒区域の指定要件を満たす箇所を調査した結果、新たに9,047箇所の土砂災害警戒区域等の候補箇所が抽出されました。今後、順次基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域等に指定してまいります。また、土砂災害警戒情報の発表精度の向上や補足情報システムの改善に取り組むとともに、看板等による警戒区域の現地表示、ハザードマップ作成や防災訓練の実施などによる市町の警戒避難体制整備への支援や、土砂災害防止講習会や出前講座などによる防災知識の普及・啓発に取り組んでまいります。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との協調、連携により初めて成果をなすものであります。今後とも、会員の皆様方には、より一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

令和6年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事 **杉山 一仁**

## 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-3044  
FAX 054-221-3564

部理事(防災技術担当)  
**望月 嘉徳**  
☎3040

砂防課長  
**杉山 一仁**  
☎3382

課長代理  
**大野 正敏** ☎3382  
・課長の代理  
・砂防協会、砂防ボランティア事務

### 砂防班

主幹兼砂防班総括主査 <b>岡本 光永</b> ・警戒避難体制整備の促進 ・砂防指定地内行為許可 ・申請の技術審査	マイクログ 342 班 長 <b>松村 昌広</b> ・砂防班の総括 ・直轄砂防事業の調整 ・富士山の火山噴火対策
主任 <b>原崎 健輔</b> ・土砂災害防止法に関すること ・基礎調査 ・土砂災害警戒区域等の指定・解除	☎3041 主 査 <b>三井 良太</b> ・県単砂防事業 ・災関緊急砂防事業 ・砂防指定地の指定 ・伊豆東部火山群の火山噴火対策
技 師 <b>高井 悠任</b> ・情報基盤整備事業 ・土砂災害防止の広報・啓発 ・演習場周辺地区障害防止事業	土砂災害 110番 ☎3044 主 任 <b>井出 隼吾</b> ・補助・交付金砂防事業 ・砂防技術基準

### 傾斜地保全班

班 長 <b>渥美 晃岳</b> ・傾斜地保全班の総括 ・直轄地すべり事業の調整	マイクログ 341 主 査 <b>岩田 雅裕</b> ・地すべり事業(林野) ・災関緊急地すべり事業(林野) ・県単急傾斜地事業(新設)
主 査 <b>鈴木 隆明</b> ・補助・交付金急傾斜地事業 ・災関緊急急傾斜地事業 ・急傾斜地崩壊対策の技術基準	☎3043 主 査 <b>山本 仁</b> ・地すべり事業(農地) ・災関緊急地すべり事業(農地) ・県単急傾斜地事業(維持) ・急傾斜地崩壊危険区域の指定
技 師 <b>花木 智洋</b> ・土砂災害警戒情報 ・地すべり事業(国交) ・災関緊急地すべり事業(国交)	土砂災害 110番 ☎3042 砂防協会 <b>小杉 祐子</b> ・砂防協会の事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等は、  
「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理課 ☎3028 (課長) 鍋田 航平  
河川砂防管理班 ☎3034 (班長) 榎原 宏 (主事) 福地 伸泰 (主事) 平野 悠

※水防に関すること、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関することについては、  
同室内にある「土木防災課」で担当します。

土木防災課 ☎3033

# 【令和6年度の行事予定】

月 日	時刻	会 場	会 場 等
4月 26日(金)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡市内
5月 23日(木)	11:00	(一社)全国治水砂防協会令和6年度(第88回)通常総会	砂防会館(東京都)
// 29日(水)	14:00	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡市内
// 29日(水)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部令和6年度(第79回)通常総会	静岡市内
6月1日(土)~7日(金)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(土)~30日(日)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 2日(日)		土砂災害・全国防災訓練	静岡県内各地
// 3日(月)		「土砂災害防止月間」キャンペーンバス出発式	バス営業所
// 4日(火)		「土砂災害防止月間」街頭キャンペーン	JR静岡駅
// 7日(金)、14日(金)		市町等砂防担当職員研修(防災演習)	静岡県庁
// 6月15日(土)		みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)	青葉シンボルロード(静岡市)
8月 22日(木)~24日(土)		市町長等砂防関係事業県外視察	広島県内(予定)
10月 下旬		東海地区砂防協会支部長・砂防課長合同会議	三重県内
11月 下旬		市町等砂防担当職員研修(現場研修)	検討中
// 14日(木)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
2月 中旬		第65回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## がけ崩れ防災週間 土砂災害防止月間

6月1日(土)~ 7日(金)

6月1日(土)~30日(日)

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、台風や集中豪雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は頻発化・激甚化する豪雨等による被害が増えていますので、雨が降りだしたら防災・気象情報などに注意しましょう。

毎年、梅雨入りを迎える6月を土砂災害防止月間として、県民のみなさまに土砂災害防止について理解と関心を深めていただくため、国、県、市町などの関係機関が連携し、急傾斜地パトロールや防災訓練、講習会などを実施しています。

### 行事予定

- 6月1~30日 急傾斜地パトロール(重点実施)
- 6月 2日(日) 土砂災害・全国防災訓練
- 6月 3日(月) 「土砂災害防止月間」キャンペーンバス出発式
- 6月 4日(火) 「土砂災害防止月間」街頭キャンペーン
- 6月15日(土) みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催(青葉シンボルロード)
- 6月1日~9月15日 「土砂災害防止に関する絵画・作文」の作品募集



令和5年度 土砂災害・全国防災訓練(ハザードマップの確認状況)

速報

令和6年度

# 砂防関係当初予算

# 112億2,715万円余

令和6年度当初予算が令和6年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆3,160億円で、前年度に比べ543億円の減、対前年度比96.0%でした。

砂防関係事業の予算は、予算総額約112億2,715万円、前年度より3億8,670万円の増、対前年度比103.6%となりました。主な内訳は次のとおりです。

## 1 一般公共事業 55億3,800万円

国の補助や交付金を活用し、砂防堰堤等の防止施設の整備とともに、高精度な地図を活用した基礎調査の実施や市町の警戒避難体制の整備を促進するソフト対策に取り組みます。

## 2 県単独事業 34億6,500万円

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所の防止施設の整備や調査等を実施します。なお、県土強靱化対策事業が令和6年度も継続されます。

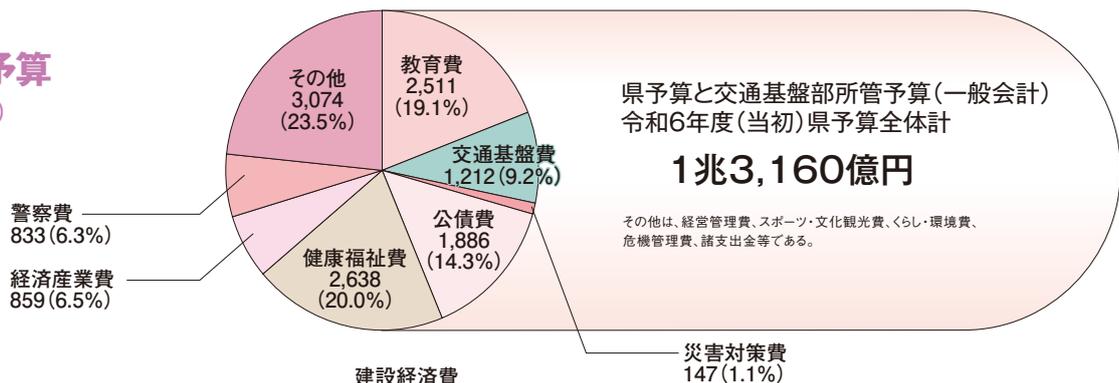
## 3 国直轄事業費負担金 22億2,200万円

富士山、安倍川、狩野川において国土交通省が行う直轄砂防事業及び由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

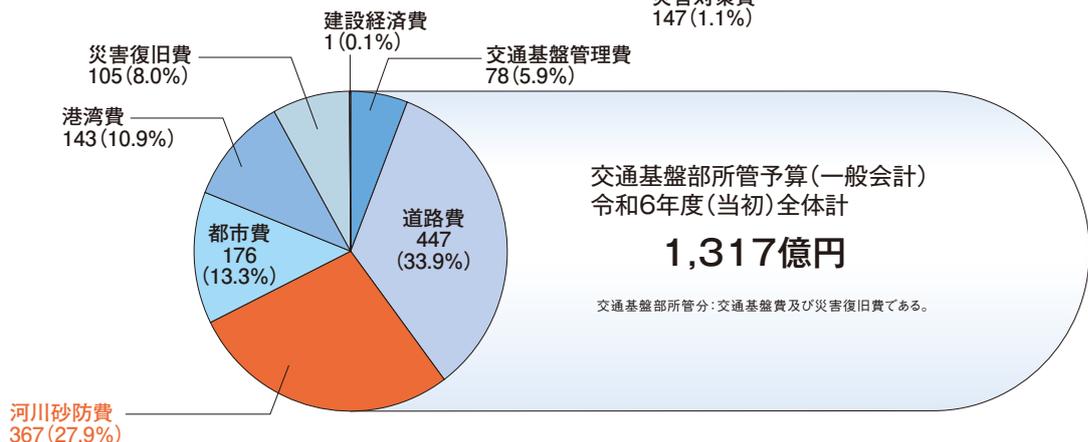
## 静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

### ●県予算と交通基盤部予算 令和6年度(当初)



### ●交通基盤部所管予算 令和6年度(当初)

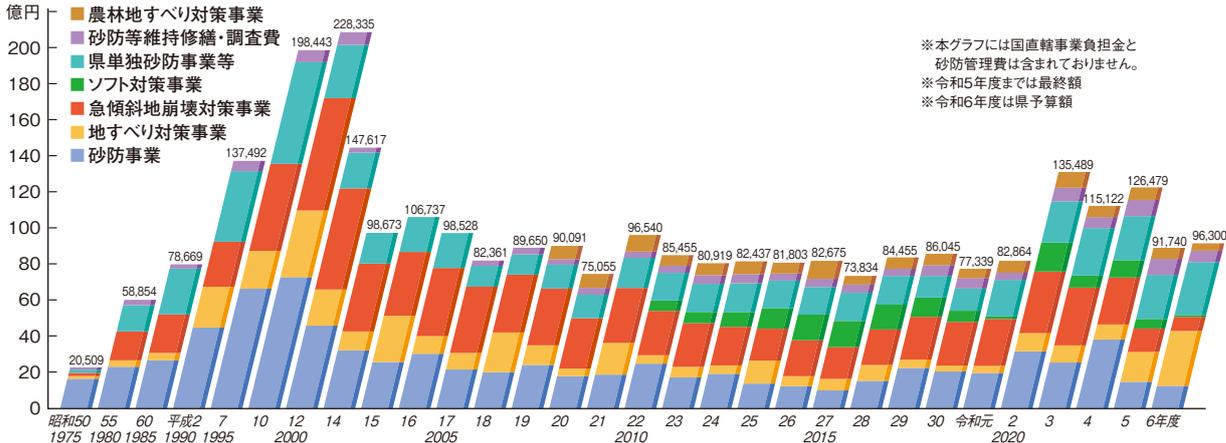


(単位:千円、%)

令和6年度砂防関係事業等予算額調書

事業名	令和6年度		令和5年度		A/B	A/C
	当初 A	最終 C	当初 B	最終 C		
★砂防管理費 (第1目) 計	2,148	2,453	2,453	2,422	87.6	88.7
国庫補助						
砂防						
通常砂防事業	336,000	197,001	197,001	493,550	170.6	68.1
火山砂防事業	17,100	57,750	57,750	52,500	29.6	32.6
砂防事業 計	353,100	254,751	254,751	546,050	138.6	64.7
地すべり対策	74,550	155,400	155,400	132,300	48.0	56.3
急傾斜地崩壊対策	237,300	141,749	141,749	279,300	167.4	85.0
メン						
砂防メンテナンス(砂防)	404,250	325,500	325,500	585,900	124.2	69.0
砂防メンテナンス(地すべり)	69,300	117,600	117,600	88,200	58.9	78.6
テ						
砂防メンテナンス(急傾斜)	10,500			21,000	皆増	50.0
通常国庫補助事業 計	1,149,000	995,000	995,000	1,652,750	115.5	69.5
通常砂防事業	679,785	409,450	409,450	1,263,535	166.0	53.8
火山砂防事業	150,150	95,400	95,400	270,900	157.4	55.4
火山噴火緊急減災対策	15,750	22,050	22,050	15,750	71.4	100.0
砂防事業 計	845,685	526,900	526,900	1,550,185	160.5	54.6
地すべり対策事業 計	64,050	152,250	152,250	153,825	42.1	41.6
急傾斜地崩壊対策事業 計	1,108,800	1,065,750	1,065,750	2,068,635	104.0	53.6
一般公共						
総流防						
土砂・洪水氾濫対策				74,550	—	皆減
情報基盤緊急整備	42,315	132,300	132,300	312,165	32.0	13.6
盛土緊急対策	430,000			730,000	皆増	58.9
基礎調査	3,150	315,000	315,000	693,000	1.0	0.5
総合流域防災事業 計	475,465	447,300	447,300	1,809,715	106.3	26.3
効果促進事業(ソフト)		2,800	2,800		皆減	
防災・安全交付金 計	2,494,000	2,195,000	2,195,000	5,582,360	113.6	44.7
砂防管理DX推進事業費		50,000	50,000	25,000	皆減	皆減
東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	80,000	48,000	48,000	80,302	166.7	99.6
特定緊急砂防						
特定緊急地すべり		90,068	90,068	90,068	皆減	皆減
災害関連緊急砂防	362,000	362,000	362,000		100.0	皆増
災害関連緊急地すべり対策	1,280,000	1,189,932	1,189,932	453,760	107.6	282.1
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	173,000	173,000	173,000	90,068	100.0	192.1
地域かけ崩れ崩壊対策事業費				26,250	皆減	皆減
災害関連緊急事業 計	1,815,000	1,724,932	1,724,932	570,078	105.2	318.4
一般公共事業 計	5,538,000	5,103,000	5,103,000	8,000,558	108.5	69.2
生活環境整備						
通常砂防	180,000	220,000	220,000	97,030	81.8	185.5
地すべり対策	65,000	20,000	20,000	20,000	325.0	325.0
急傾斜地崩壊対策	223,000	196,000	196,000	160,000	113.8	139.4
砂防等維持修繕	493,000	560,000	560,000	653,723	88.0	75.4
砂防等調査	293,000	258,000	258,000	273,247	113.6	107.2
砂防等台帳整備	11,000	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0
生活環境整備事業 計	1,265,000	1,265,000	1,265,000	1,215,000	100.0	104.1
施設整備	112,000	112,000	112,000	150,675	100.0	74.3
指定促進対策	8,000	8,000	8,000	19,325	100.0	41.4
急傾斜地崩壊対策事業費補助	120,000	120,000	120,000	170,000	100.0	70.6
砂防単事業 計	1,385,000	1,385,000	1,385,000	1,385,000	100.0	100.0
豪雨等災害						
砂防	556,500	518,000	518,000	518,000	皆増	皆増
地すべり(国交省)	30,000				皆増	皆増
地すべり(治山)	10,000	124,000	124,000	124,000	8.1	8.1
地すべり(農地)	73,500	48,000	48,000	48,000	153.1	153.1
急傾斜地崩壊対策	230,000	210,000	210,000	210,000	109.5	109.5
豪雨等災害対策緊急事業	900,000	900,000	900,000	900,000	100.0	100.0
砂防	286,000	353,000	353,000	412,000	81.0	69.4
急傾斜地崩壊対策	394,000	327,000	327,000	268,000	120.5	147.0
緊急自然災害防止対策事業	680,000	680,000	680,000	680,000	100.0	100.0
県土強靱化対策事業	500,000	500,000	500,000	500,000	100.0	100.0
砂防	1,522,500	1,591,000	1,591,000	1,527,030	95.7	99.7
地すべり対策	178,500	192,000	192,000	192,000	93.0	93.0
急傾斜地崩壊対策	967,000	853,000	853,000	808,000	113.4	119.7
その他(維持修繕・調査)	797,000	829,000	829,000	937,970	96.1	85.0
県単独事業 計	3,465,000	3,465,000	3,465,000	3,465,000	100.0	100.0
砂防費 (第4目) 計	9,003,000	8,568,000	8,568,000	11,465,558	105.1	78.5
一般公共						
農林地すべり	217,000	196,000	196,000	423,150	110.7	51.3
農林地すべり(災害関連分)	23,000	23,000	23,000		100.0	皆増
治山地すべり	185,000	185,000	185,000	280,815	100.0	65.9
治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000	65,000	844,000	100.0	7.7
農林地すべり一般公共事業 計	490,000	469,000	469,000	1,547,965	104.5	31.7
県単独						
農林地すべり	63,000	63,000	63,000	63,000	100.0	100.0
農林地すべり(災害関連分)	74,000	74,000	74,000	74,000	100.0	100.0
生活環境整備事業 計	137,000	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0
農林地すべり県単事業 計	137,000	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0
農林地すべり	280,000	259,000	259,000	486,150	108.1	57.6
治山地すべり	259,000	259,000	259,000	354,815	100.0	73.0
災害関連分	88,000	65,000	65,000	844,000	135.4	10.4
○農林地すべり対策費(第5目) 計	627,000	606,000	606,000	1,684,965	103.5	37.2
★国直轄事業費負担金 (第6目) 計	2,222,000	2,270,000	2,270,000	2,917,999	97.9	76.1
合計	11,854,148	11,446,453	11,446,453	16,070,944	103.6	73.8
合計から○を除く	11,227,148	10,840,453	10,840,453	14,385,979	103.6	78.0
合計から★を除く	9,630,000	9,174,000	9,174,000	13,150,523	105.0	73.2

砂防関係事業費の推移



# 土砂災害警戒区域等の候補箇所の抽出

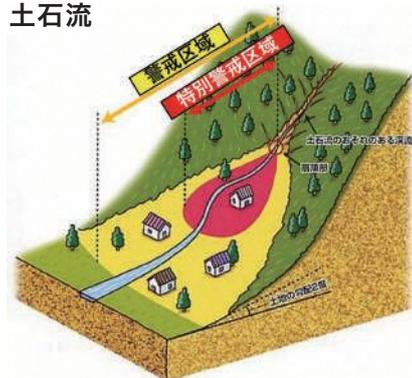
## 土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害防止法に基づき指定される区域であり、「土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)」と「土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)」があります。

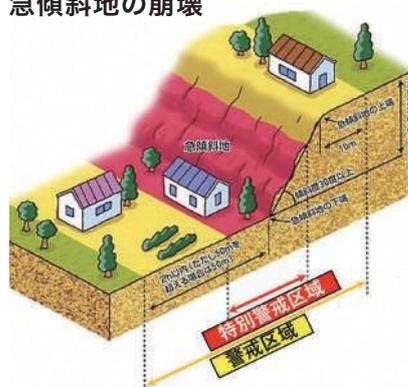
**土砂災害警戒区域**: 崩壊した土石等によって、被害を受けるおそれがある区域で、土砂災害ハザードマップの作成など、土砂災害に対する警戒避難体制が整備されます。

**土砂災害特別警戒区域**: 崩壊した土石等によって、住宅等が倒壊するなどの被害が生じるおそれがある区域で、開発や住宅等の建築物を建築する場合、許可や確認が必要となります。

土石流



急傾斜地の崩壊



土砂災害警戒区域(イエローゾーン)と土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)のイメージ図

## 土砂災害警戒区域等の候補箇所

近年、全国的に土砂災害警戒区域に指定されていない箇所で、土砂災害が発生している事例が見られることから、3次元点群データ等高精度な地形情報を用いて、土砂災害が発生するおそれがある箇所の調査を実施したところ、新たに9,047箇所の土砂災害警戒区域等の候補箇所が抽出されました。

今後、候補箇所は順次基礎調査を実施し、指定要件の確認や区域範囲を明確にしたうえで、土砂災害警戒区域等の指定を行っていきます。なお、区域指定までには、多くの時間を要することから、土砂災害に対する警戒避難の参考としていただきたいため、砂防課ホームページで候補箇所の位置や範囲等を御確認いただけます。

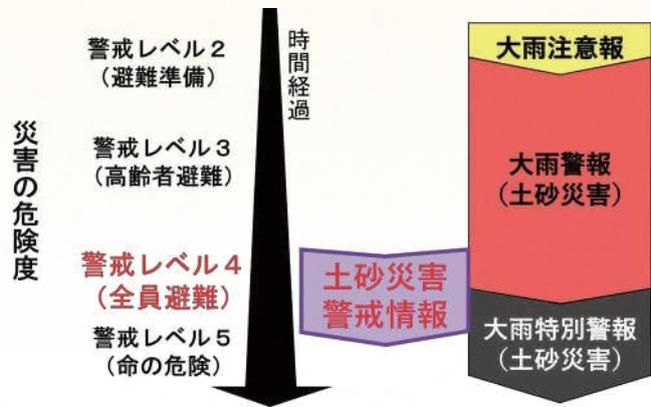


土砂災害警戒区域等の候補箇所のイメージ図(砂防課ホームページ)

# 土砂災害警戒情報の精度向上

## 《土砂災害警戒情報》

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂)発表後、降雨の2時間先までの予測値が土砂災害発生危険基準線(以下、「CL」という)を超えた場合、土砂災害の危険性が高まったとして、県と静岡地方気象台で、市町の防災対応や住民避難を促すために発表する情報です。2時間先の土砂災害を予測することで、避難時間の確保が可能となります。

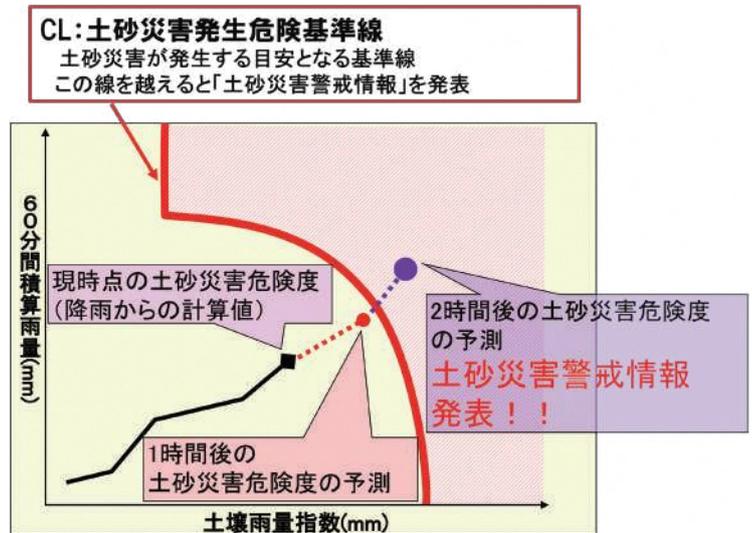


土砂災害警戒情報の位置付け

## 《土砂災害警戒情報の精度向上》

県では平成19年の運用開始以来、雨量や土砂災害データの蓄積に伴いCLの見直しを行ってきましたが、令和2年8月に、CLの作成単位を細分化する国の通知があったことから、気象台等との検討を経て、有識者などで構成される「土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会(R5.10月開催)」において、従来の5kmメッシュのCL作成単位を1kmメッシュに細分化することを決定しました。

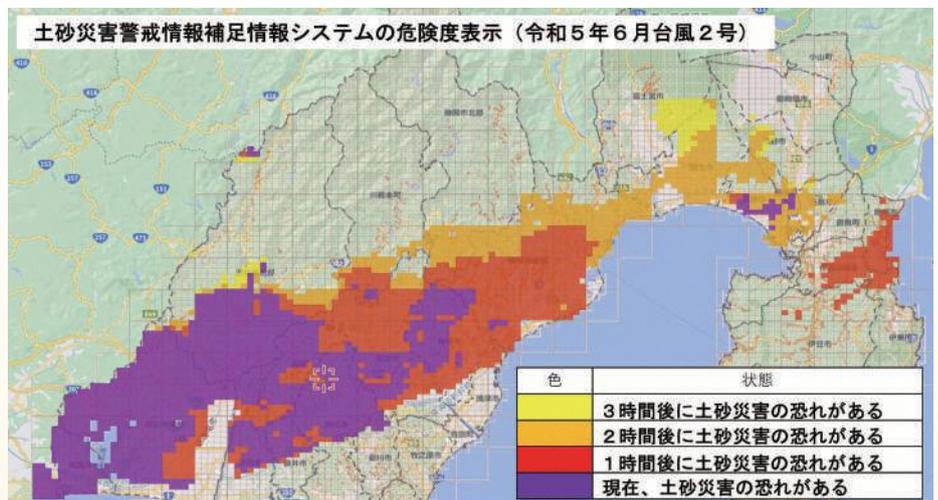
この見直しにより、土砂災害の発生危険度の詳細な把握や住民の的確な避難行動が期待できることから、現在、令和6年5月下旬からの運用を目指し、静岡地方気象台と準備を進めています。



土砂災害警戒情報の発表基準

## 《土砂災害警戒情報補足情報システム》

県では、市町長の避難指示発令の判断基準や県民の自主避難等の参考としていただけるよう、土砂災害の発生危険度が随時把握できる「土砂災害警戒情報補足情報システム」を県砂防課のホームページで公開しています。土砂災害の発生危険度の現状を色分けで把握できますので、豪雨時に是非ご活用ください。



土砂災害警戒情報補足情報システム(砂防課ホームページ)

# あなたのまちの安全度

県では、令和元年度末までに指定が完了した18,215箇所（土砂災害警戒区域等）を対象に、土砂災害対策施設整備や地形改引き続き、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、砂防堰堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備とともに、住民への土砂公表等）や土砂災害警戒情報の発表などのソフト対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

## 市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

（令和6年3月31日 現在）

所管 土木	市町名	土砂災害警戒区域指定状況				土砂災害特別警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	256		346	602	183		328	511	599
	東伊豆町	31	6	67	104	19		66	85	104
	河津町	105	6	130	241	72		129	201	241
	南伊豆町	304	1	285	590	229		266	495	590
	松崎町	104	1	145	250	70		61	131	249
	西伊豆町	100	1	149	250	54		120	174	250
	小計	900	15	1,122	2,037	627		970	1,597	2,033
熱海	熱海市	105	1	195	301	59		194	253	301
	伊東市	107	2	259	368	72		256	328	368
	小計	212	3	454	669	131		450	581	669
沼津	沼津市	124		256	380	61		250	311	380
	三島市	22		97	119	15		90	105	119
	御殿場市	30		21	51	19		20	39	51
	裾野市	52		60	112	44		57	101	112
	伊豆市	579	11	590	1,180	355		583	938	1,180
	伊豆の国市	140	2	312	454	91		308	399	454
	函南町	37	1	105	143	27		105	132	143
	清水町	2		17	19			17	17	19
	長泉町	2		36	38	2		35	37	38
	小山町	47		78	125	11		72	83	125
	小計	1,035	14	1,572	2,621	625		1,537	2,162	2,621
富士	富士宮市	109	2	296	407	64		285	349	407
	富士市	53	2	174	229	32		155	187	229
	小計	162	4	470	636	96		440	536	636
静岡	静岡市	1,010	32	1,967	3,009	736		1,917	2,653	3,009
	小計	1,010	32	1,967	3,009	736		1,917	2,653	3,009
島田	島田市	234	42	540	816	148		527	675	816
	焼津市	29	1	60	90	17		57	74	90
	藤枝市	235	37	500	772	152		490	642	772
	牧之原市	41	5	420	466	24		419	443	466
	吉田町			12	12			11	11	12
	川根本町	55	10	195	260	34		193	227	259
	小計	594	95	1,727	2,416	375		1,697	2,072	2,415
袋井	磐田市	93		252	345	62		251	313	345
	掛川市	216	23	1,109	1,348	175		1,100	1,275	1,348
	袋井市	49		270	319	36		265	301	319
	御前崎市	16	1	351	368	14		349	363	368
	菊川市	83	4	610	697	71		604	675	697
	森町	79	18	431	528	55		422	477	528
	小計	536	46	3,023	3,605	413		2,991	3,404	3,605
浜松	浜松市	574	138	2,307	3,019	456		2,146	2,602	3,019
	湖西市	5		225	230	3		219	222	230
	小計	579	138	2,532	3,249	459		2,365	2,824	3,249
合計	5,028	347	12,867	18,243	3,462		12,367	15,829	18,103	

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法8条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害警戒区域等は、

<http://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/dosyakei/index.html>

でご覧になれます。

変に伴う区域の見直しを実施しています。  
災害(特別)警戒区域の周知(インターネットによる指定区域図の

## 市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(令和6年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	17	18.1				164	34	20.7	258	51	19.8
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	8	21.1	60	17	28.3
	河津町	53	15	28.3	5	2	40.0	44	13	29.5	102	30	29.4
	南伊豆町	119	14	11.8	1	1	100.0	131	40	30.5	251	55	21.9
	松崎町	71	8	11.3	1	1	100.0	77	23	29.9	149	32	21.5
	西伊豆町	64	19	29.7	1			67	20	29.9	132	39	29.5
	小 計	417	81	19.4	14	5	35.7	521	138	26.5	952	224	23.5
熱海	熱海市	91	19	20.9	1			95	15	15.8	187	34	18.2
	伊東市	82	25	30.5	2	1	50.0	110	28	25.5	194	54	27.8
	小 計	173	44	25.4	3	1	33.3	205	43	21.0	381	88	23.1
沼津	沼津市	96	22	22.9				128	74	57.8	224	96	42.9
	三島市	15	2	13.3				39	18	46.2	54	20	37.0
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	11	47.8				24	6	25.0	47	17	36.2
	伊豆市	328	62	18.9	8	1	12.5	148	46	31.1	484	109	22.5
	伊豆の国市	74	5	6.8	1			82	34	41.5	157	39	24.8
	函南町	14	4	28.6	1			32	7	21.9	47	11	23.4
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	22	59.5	72	32	44.4
小 計	596	123	20.6	10	1	10.0	522	211	40.4	1,128	335	29.7	
富士	富士宮市	66	20	30.3	1			81	26	32.1	148	46	31.1
	富士市	48	18	37.5	1	1	100.0	55	32	58.2	104	51	49.0
	小 計	114	38	33.3	2	1	50.0	136	58	42.6	252	97	38.5
静岡	静岡市	540	137	25.4	11	4	36.4	654	309	47.2	1,205	450	37.3
	小 計	540	137	25.4	11	4	36.4	654	309	47.2	1,205	450	37.3
島田	島田市	83	19	22.9	26	7	26.9	132	75	56.8	241	101	41.9
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	21	84.0	39	29	74.4
	藤枝市	69	30	43.5	27	9	33.3	117	67	57.3	213	106	49.8
	牧之原市	13	12	92.3	2	3	150.0	57	25	43.9	72	40	55.6
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	川根本町	23	4	17.4				33	14	42.4	56	18	32.1
	小 計	201	72	35.8	56	20	35.7	367	204	55.6	624	296	47.4
袋井	磐田市	20	2	10.0				33	8	24.2	53	10	18.9
	掛川市	39	3	7.7	11	7	63.6	102	31	30.4	152	41	27.0
	袋井市	7						30	11	36.7	37	11	29.7
	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	菊川市	9	2	22.2		1		84	35	41.7	93	38	40.9
	森町	23	8	34.8	5	2	40.0	26	4	15.4	54	14	25.9
	小 計	99	15	15.2	16	10	62.5	308	107	34.7	423	132	31.2
浜松	天竜区	128	53	41.4	66	25	37.9	306	90	29.4	500	168	33.6
	天竜区以外	43	11	25.6	5	4	80.0	281	70	24.9	329	85	25.8
	浜松市計	171	64	37.4	71	29	40.8	587	160	27.3	829	253	30.5
	湖西市							54	10	18.5	54	10	18.5
	小 計	171	64	37.4	71	29	40.8	641	170	26.5	883	263	29.8
合 計		2,311	574	24.8	183	71	38.8	3,354	1,240	37.0	5,848	1,885	32.2

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流I  
土石流危険渓流は直轄施行分含み

■地すべりは  
国土交通省所管のみ

■急傾斜地崩壊危険箇所は  
H15公表による危険箇所I

令和5年度

# 「土砂災害に関する絵画・作文」優秀作品の表彰

令和5年度に、土砂災害防止月間の取組の一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、県内で56点の応募がありました。

今年度は、静岡市立清水飯田中学校の小林和花子さんが作文の部にて静岡県知事賞、島田市立島田第一小学校の高塚ひまりさんが絵画の部にて交通基盤部長賞に選ばれました。また、全国治水砂防協会静岡県支部長賞他4点の計6点が受賞しました。

3月27日(水)に県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、静岡県交通基盤部長より、受賞者の皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者と交通基盤部長、砂防課長の集合写真



静岡県知事賞を受賞した小林和花子さんの表彰風景

## ■栄えある受賞者のみなさん

(敬称略)

賞	部門	学年	受賞者名	学校
静岡県知事賞	中学生作文	3	小林 和花子	静岡市立清水飯田中学校
静岡県交通基盤部長賞	小学生絵画	5	高塚 ひまり	島田市立島田第一小学校
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	中学生絵画	2	大家 夕希奈	静岡市立長田南中学校
	中学生作文	2	山田 彩瑚	静岡市立清水庵原中学校
	中学生作文	1	立石 采那	伊東市立門野中学校
	小学生作文	3	鈴木 凜人	静岡市立番町小学校

### 静岡県 交通基盤部長賞

島田市立島田第一小学校5年  
高塚 ひまり さん



### 全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

静岡市立長田南中学校2年  
大家 夕希奈 さん



## 静岡県知事賞

### 「土砂災害への警戒心」 静岡市立清水飯田中学校3年 小林 和花子 さん

今年の八月中旬台風七号が近畿地方を横断した。通り道となった沖縄県や九州地方では停電や浸水などの大きな被害があった。

私が住んでいる街静岡県でも富士市の道路が冠水し、中部で竜巻が発生するなどの被害が起こった。

近年、土砂災害に関するニュースを目にすることが多いように感じられる。これは、ずっと叫ばれている地球温暖化による線状降水帯の発生や大型台風、長い梅雨などの異常気象の多発が原因であると考えられる。それに加えて日本は山地が多い割に、平地が少ない特徴がある。その山の斜面の近くにもたくさんの人が住んでいる。

この地球温暖化の進行と日本の地形の特徴の2つが重なり合っ

て土砂災害の多発につながっていると考えられる。  
昭和、平成、令和と時代が進むごとに観測史上最高を更新している。では、逃げられない大雨や土砂災害の被害を最小限に抑えるにはどうしたらいいのでしょうか。

それは、土砂災害の前兆となる台風や大雨の情報が知ることができたらいいと思う。より正確な情報を前もって知れば、素早い避難ができ、土砂災害から身を守ることができる。

しかし、令和となって技術が進歩した今となっては台風の進路や雨の強さなど細かい情報がニュースなどから伝えられる。最近では土砂災害の警戒レベルがわかるようになり、いつ避難をしたらいいのかわか

らなくなった。  
にも関わらず、土砂災害から逃げ遅れたり事前に準備していれば回避できた台風の被害にあうのはどうしてだろうか。台風七号が日本列島を縦断した時でも高架下の道路を車で通り動けなくなる事があった。

台風が来ており、大雨で水が溜まっているのが分かっているのに通ろうとする。

早く避難ができるようになったのにもかかわらず、自ら被害にあいにくいようなことをしたり、逃げ遅れたりするのだろうか。

私は日本に台風や大雨が毎年毎年来て、「きっと今回も土砂災害は起こらないだろう」と危険への警戒心が薄れていることが原因だと思う。日本各地で土砂災害が起こっているが、自分の住む地域では起こらないだろうと災害の恐ろしさを過小評価している節が日本人にはある。

台風七号が接近している時のニュースでは台風の進路だけでなく、「〇日に台風が上陸するので〇日から〇日の間で備えをしてください」と準備をする期間までも指示をしていました。日本人の土砂災害への警戒心の薄さを表しているのではないだろうか。

ではどうしたら土砂災害への警戒を高めて備えをしていくのだろうか。

私は土砂災害が実際に起こった現地の様子、現在の様子を伝えることが大切だと、思う。不安を煽るようなことになるが、実際の様子というものを積極的に見せていくことによって警戒心を高められるのではないだろうか。実際に今まで被害を経験したことがなくとも。

台風が接近してきたら「前の被害の様子」と題して紹介していくのがいいと思う。

メディアに関わる皆さんには頑張ってもらいたい。

私も、土砂災害に対する警戒心が年々薄くなっているなど感じている。台風七号の被害にも目を向けてしっかりと向き合い、土砂災害への警戒を怠らないようにしたい。

## 全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

### 「土砂災害を体験して学んだこと」 静岡市立清水庵原中学校2年 山田 彩瑚 さん

二〇二二年九月、私の住む静岡市は、台風により土砂災害に見舞われた。

朝起きて、カーカーテンを開けるとそこには今までに見たことない光景が広がっていた。道路一面が土砂で埋めつくされていた。土砂災害の中には、大きな枝やどこから流されてきたかわからないタイヤもあった。土砂が固まる前に、私達は土砂を片付け始めた。土砂にたくさん水分が含まれていて、作業するのはとても重くて、大変だった。だけど、土砂を片付けるのを近所の人も手伝ってくれた。始めはとも終わる気がしなかったけど、たくさんの方が手伝ってくれたり、小型のパワーショベルを使ったりのおかげで、なんとか固まる前に土砂を片付けることができた。でも、大変なのはその後からだ。

片付けたといえ、土砂は道路の端に寄せただけ。その土砂が撤去されるのは、もっと後のことだった。その土砂が撤去されるまでの間に、雨が降り、また土砂が流れてしまったり、その土砂が異臭を放ったりして、気分が悪くなってしまうことも度々あった。また、静岡市の台風による被害は土砂災害だけではなく。静岡市全域で断水が起きたのだ。そしてその原因の多くは、土砂災害によるものだった。川の水が浄水になるための通水口が、土砂でふさがれてしまっていた。また、通水口にはまった大きな枝がなかなか抜けず、水道の復旧がおくれた。水が使えないと、お風呂やトイレなど普段の生活にも支障が出るし、給食も作ることが出来なくなってしまう。蛇口をひねったら水が出るのは当たり前ではないこと、普段自分達は水がなければ到底生きていけないこと、なにより、土砂災害一つ起きただけで、普段の当たり前が一瞬にして崩れてしまうことを思いきり痛感した瞬間だった。

断水や土砂災害が落ち着いたころ、県内では対策について話し合われるようになった。また、今回の台風は千年に一度の規模だと

想定されていたという。私の通う学校の生徒の多くは、山の近くに住んでいて、今回大きな被害を受けた子や断水の被害にあった子ばかりだった。そのため、クラスで今回の台風による被害についてよく話題にあがるようになった。「自分の家の水は地下水だから断水せずに済んだ」など、色々な声をきくこともできた。また、中には土砂災害の影響で道路や橋がくずれ、通学路が通れなくなり、遠回りをして、学校に来ている子もいた。友達とこうした話をする中で、私はもう一度同じ規模の土砂災害が起きたとき、自分達はどうするべきなのかを考えるようになった。また道路が土砂で覆われたら？もし通学路が通行止めになってしまったら？もし避難しなくてはならなかったらどのタイミングで行くのか？など、疑問や不安はつきない。でも、その疑問をそのままにしていたらまた同じことが起きるだけである。普段の通学路に代わる道はあるのか、そしてそこは土砂災害が起きても安全に通れるのか、など普段からきちんと考え、実行することや、避難指示が出たからといって焦らず、今家を出て本当に安全なのか、と冷静に臨機応変できるようにすることが大切である。また、今回の件でよく分かったのは、ご近所付き合いは大切だということ。普段からご近所付き合いが悪いと、きっと今回も土砂の片付けを手伝ってくれなかったらどうし、だれも手伝ってくれなかったら、土砂が固まってしまう、作業がもっと大変になっていたと思う。「困ったときはお互い様」また土砂災害が起きてしまった時、仮に自分達に何も被害が及んでいなくても、ご近所同士、一緒に片付けをしていこうと思う。

今回、土砂災害を通して、「何かあった時ではもう遅く、普段から意識して行動することや共助の大切さを学ぶことが出来た。台風で散々な目にあっただけ、色々なことを学ぶ貴重な機会を、私は土砂災害にもらった。

## 全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

### 「土砂災害から助かるために」 伊東市立門野中学校1年 立石 采那さん

日本は、土砂災害がとて多い国であり、被害を大きくもたらしめます。私が十三年間、生きてきた中で、最も身近に感じた土砂災害は、熱海市伊豆山でおきました。この災害は、令和三年、七月三日におきた大規模な土砂災害です。この頃は梅雨の時期にあたるので大雨の影響により山や土石・砂などが崩れて、水と混じってどろどろになり一気に流れ出て大規模な土砂災害になりました。被害は、死者二十八人、避難者一五三人、全壊の家屋一二八棟になり、すごく被害が大きいです。このような被害を少しでも減らすために、防止、対策を考えました。

まず自分にできるは、学校でも行っている避難訓練を真面目に取り組むことです。訓練の時から災害を想定して、今どうするべきかを考えることが大切です。自分の命を守るためにも取り組みたいです。あと、普段から災害がおこりそうな場所を確認しておくことも大切だと思います。通学路などで、がけになっているところや、岩などが落ちてきそうな場所を知っておいて対策することが大切です。

私は、テレビで土砂災害は地震とは違って、突然起こるのではなく、周りをよく観察しておけば余裕を持って避難することができるということを知りました。私は、災害はいつでも突然おこるというイメージがあって、その時にどれだけ早く逃げられるかが大切なのだと思っていました。けれど周りの様子を観察をしていけば、焦らずに、家族と逃げることができます。だから常日頃から、周りの観察するようにして、小さな変化にも気づける視野の広さを大切に

にしたいと思います。

他にも、防災備蓄品を用意することも大切だと思います。いざとなった時に、すぐに迷わず持って逃げることができる。土砂災害がおこって避難生活を送るとしたら少しでも備蓄品があった方がいいと思いますし、今のような充実した生活が送れないと思うとやはり災害は怖いなど改めて思います。

実際に土砂災害がおこってしまったら、土砂の流れる方向に対して直角に逃げ、がけ崩れの場合は、すぐに山やがけから離れ、危ない所はさけて、注意報や警報が出されたらすぐに避難所に向かうことが重要です。焦らず冷静に考えて、どうやったら助かるか今すべき行動を取れるかがとても大切だと思います。

土砂災害は、破壊力が大きく速度も速いので、すごい大きな被害になります。土砂災害がもしかしたら来るかもしれないと考えると普段から備えておくことと、危険だと思う所を確認しておくこと、避難場所を知っておくことだと思います。

私は、小さい時から暮らしている伊東市が土砂災害におそわれるなんて想像できません。しかし、「まさか」とか「大丈夫」などといった考えはやめて、「もしかしたら来るかもしれない」という緊張感をもって、もしもの時には対処していきたいです。大事な人といられる大切さや、幸福さを分かって、もしもにそなえて、自分の命を守れるようにしたいと思います。対策を考えて今できることをやっていきたいです。

## 全国治水砂防協会 静岡県支部長賞

### 「深そ杭の深さにおどろいた」 静岡市立番町小学校3年 鈴木 凜人さん

七月二十二日に行われた～由比地すべり対策施設工事現場の『子ども見学会』～にさん加しました。ふだん見ることができない地下約四十メートルの工事現場を見学できるということでも楽しみでした。

なぜさん加したかということ、昨年の六月『土砂災害防止』のイベントで教えてもらったことが心にのこっていたからです。その時は、富士山の周りの側火山を数えたり、ペットボトルを使ってたつまきを作る実験もありました。それらの中で一番気になったのが「土砂くずれ」のもけいでした。土砂に見たて小さなボールを使って、「砂防えん堤」の役わりを教えてくださいました。えん堤がある時のボールの流れ、えん堤がない時のボールの流れのちがいがしっかりわかりました。そして、土砂をくい止める「えん堤」の大切さがわかりました。

『子ども見学会』では、ヘルメットをかぶりハーネスという安全ベルトをつけて、深そ杭の中をエレベーターでおりました。

直径五メートル、深さ八十メートルで鉄筋を組み立ててコンクリートを流して、深そ杭が完成になるそうです。一日あたり四十センチメートルしかほり進められないと説明してくれました。それを六十八本もつくるということは年月がかかると思いました。ほくたちがおりた深そ杭の側に、SB十五・進捗表・と表示されたかん板がありました。

一緒に行ったお母さんに聞いたら、「現在(七月二十二日)は七十九・五メートルのうち、三十八メートルほり進めている」と教えてくれました。

深そ杭は、地上からは見えない長い柱です。深そ杭は、地すべりの移動を止めるための大きな、大きな長い柱です。地すべりする面よりも深い所(約八十メートル下)に、かたい岩石があるそうです。

『見学会』でその岩石を見ることができました。トンカチを使って、それをくだいてお守りにする体験をしました。「すべらない」という合格のお守りだそうです。岩石はとてもかたくて、力いっぱいたたいてもほくには無理でした。工事現場の人に手伝わってもらいました。

すでに完成した直径五メートルのコンクリートを流した深そ杭の上に僕は立ち、

「これで地すべり災害を防ぐことができる」

と強く思いました。深そ杭をエレベーターでおいた時、空気を送るパイプもありました。深い所までほりおこす仕事は、きけんなこともあると思います。でも地すべりで、道路や電車、人の命までうばわれたら大変なことになります。パンフレットに書いてあった『大きほ地すべり災害を未ぜんに防ぐための対策工事』の意味がよくわかりました。次は、富士山のことを調べたいと思いました。

## 東伊豆町

東伊豆町は、伊豆半島東海岸の中央部に位置し、北に伊東市、西に天城連山を境に伊豆市、南に河津町、東には伊豆七島を望める相模灘に面し、総面積は、77.81平方キロメートルで、温暖な気候（平均気温約17℃）と豊かな自然環境に恵まれています。

町内には、6つの温泉郷（大川温泉、北川温泉、熱川温泉、片瀬温泉、白田温泉、稲取温泉）があり、それぞれ豊かな温泉が湧出しています。

一月下旬からは日本3大つるし飾りの稲取温泉「雛のつるし飾りまつり」が開催され、多くの観光客が訪れています。



稲取キンメ

稲取キンメや天草を特産とした漁業とニューサマーオレンジなどの柑橘類、カーネーションなどの花卉類を中心とした農業、美しい自然環境、海の幸、山の幸に恵まれた観光産業が主幹産業となっている町です。

町内では、本年度も溪流保全工や砂防メンテナンス事業による既設砂防堰堤の改築などの砂防工事が進められており、住民の安全の確保につながっています。しかしながら、東伊豆町の土砂災害防止施設の整備率は約30%とまだ低い状況でありますので、今後ともご協力をお願いします。

町内では、本年度も溪流保全工や砂防メンテナンス事業による既設砂防堰堤の改築などの砂防工事が進められており、住民の安全の確保につながっています。しかしながら、東伊豆町の土砂災害防止施設の整備率は約30%とまだ低い状況でありますので、今後ともご協力をお願いします。



雛のつるし飾りまつり

## 歴史探訪

## 農山村を救った砂防事業

前号では、関東大震災（大正12年）の激甚な被害から砂防事業による地域の復旧・復興についてお伝えしましたが、今号では不況への対策として、山間部の砂防事業が重要な役割を果たしたことに触れます。昭和4年に、ニューヨーク株式取引所の大暴落に端を発する世界大恐慌が起こったことで、昭和9年の戦後恐慌から不況が続くわが国でも昭和恐慌に陥り、経済的にも大打撃を受けました。都市部での企業倒産等による大量の失業者の発生と農山村への流入、農産物価格の暴落、そして追い打ちをかける冷害や凶作などで特に農山村は疲弊しました。

このため、政府は農山村を救済するために、昭和7年～9年までの3か年で、農山村に暮らす人々に働く機会を与え、自力更生によって農山村を救う「時局匡救事業（じきょくきょうきゅうじぎょう）」を起こしました。砂防事業は、山間地で行われるため、①農山村に流入した失業者に就業の機会を与え、現金収入の道が開かれること、②用地代が安く、材料さえあれば人力での施工により、人件費に多くの事業費を回せること、③全国くまなく多くの箇所でも実施でき、また災害で被災した地域の整備を一挙に進められることなどから、この事業の目的に「最適」とであると判断されました。

そのような背景から、初年度の昭和7年は前年比6倍の予算が措置されたため、本県においてもそれまでの災害箇所だけでなく、全県下での砂防事業に着手しました。砂防事業の歴史の中で、この事業は従来山間部で人知れず地道に行われていた砂防事業の歴史に大きな進展と変換点を創ったと言えます。



S8農村振興砂防工事 太田川支川小笠沢川（袋井市豊沢）



S7農村振興砂防工事 巴川支川長尾川（静岡市葵区瀬名・沼上）



S8農村振興砂防工事 瀬戸川支川滝沢川（藤枝市瀬戸谷・稲葉）

## 市町等砂防担当職員現場研修を開催

1月19日(金)に、市町等砂防担当職員現場研修を県内市町と県土木事務所の担当職員36名の参加により実施し、県内で甚大な被害となった令和4年の台風15号による土砂災害の現場などを視察し、土砂災害対策について学びました。

令和4年9月の台風15号で土石流が発生し、温泉旅館など多くの人家が被災した油山川(静岡市葵区油山)では、災害関連緊急砂防事業により、次期出水に備えるため、土砂災害発生後速やかに土石流センサーや仮設堰堤等の設置、渓流内の除石を実施しており、また、流出土砂を砂防堰堤本体のソイルセメント材として活用するとともに、清水港内への埋立て材として有効活用したと説明がありました。

同じく、台風15号のがけ崩れにより人家3戸が半壊した平松藪下B(磐田市平松)では、市と連携して崩壊土砂を撤去するとともに、災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業等により、法枠工等を施工していると説明がありました。

令和5年6月の台風2号の地すべりにより県道が通行止めとなった長沢(浜松市天竜区长沢)では、点群データ等の差分地形解析によるすべり面の想定や市と県の密接な連携により、迅速に警戒避難体制を整備したことに加え、今後災害関連緊急地すべり対策事業により横ボーリング等の対策工事を進めていくなどの説明がありました。

参加者からは、「工法の選定などの経緯を学ぶことができ、とても参考になった。」「土砂災害に関する対策は、住民生活に直接影響をおよぼすものであり、今後も県、市、地域と連携し、情報共有をしながら進めて行くことが重要であると感じた。」「多彩な災害現場を間近で見ることができ、工法や地元調整の段取りも様々で勉強になった。」などの感想が寄せられました。

### 参加市町等

#### 《市町14市》

御殿場市、裾野市、伊豆の国市、長泉町、小山町、富士市、静岡市、島田市、御前崎市、菊川市、掛川市、袋井市、磐田市、湖西市

#### 《静岡県4土木事務所》

沼津土木事務所、静岡土木事務所、島田土木事務所、浜松土木事務所



土石流被災現場での説明(油山川)



がけ崩れ発生時(平松藪下B)



地すべり災害の現場説明(長沢)

## 静岡県土砂災害防止法連絡会を開催

2月14日(水)に令和5年度静岡県土砂災害防止法連絡会幹事会、3月21日(木)に令和5年度静岡県土砂災害防止法連絡会を県庁で開催しました。本会議は、土砂災害防止法に基づく総合的な土砂災害対策の円滑な実施を図るために、県庁の関係各課の取組や課題等についての情報共有、連絡調整を図るものです。

今年度は、新たに土砂災害警戒区域等の候補箇所が抽出されたことに伴い、幹事会及び連絡会での協議を経て、静岡県土砂災害防止法指定基本計画を改定しました。今後は、この改定された基本計画により、候補箇所の基礎調査を行います。

また、県議会特別委員会からの提言で実施した、逢初川の行政対応庁内検証委員会では、基礎調査から土砂災害警戒区域の指定までに時間を要したことが論点となったことから、関係部局や市町との土地改変行為等の情報共有の強化を図るなどの今後の取組方針を説明しました。



静岡県土砂災害防止法連絡会幹事会



静岡県土砂災害防止法連絡会

## 静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会を開催

1月31日(水)に、「令和5年度(第28回)静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会」を静岡県男女共同参画センターあざれあ(静岡市)で開催しました。

総会では、会員の急傾斜地パトロール等の参加や八木会長の全国連絡協議会や砂防ボランティア全国の集い(富山県富山市)への出席などの令和5年度の活動報告と、令和6年度の活動予定の確認等を行いました。

また、総会終了後、土屋智静岡大学名誉教授による「諸子沢の地すべり概要」と題した研修を行い、過去の地すべりの経緯や動画を交えた地すべり滑動の紹介に、会場は大いに盛り上がりました。



総会(八木会長挨拶)



土屋静岡大学名誉教授の研修会

## 第64回砂防および地すべり防止講習会が開催される

2月15日(木)～16日(金)に、「第64回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館別館(東京都)で開催されました。4年ぶりにコロナ前と同じ2日間開催となりました。

講習会に先立ち、砂防行政の発展及び砂防技術の向上に多大な功績があった方々に贈られる赤木各賞の授与式が行われました。

講習会では、赤木賞を受賞された信州大学名誉教授平松氏による「気候変動と森林の効果」の特別講演をはじめ、草野砂防部長の「今後の土砂災害対策の方向性」、新潟県村上市長の「令和4年8月豪雨災害からの復旧・復興～災害に強い予防防災のまちづくり～」など、砂防全般にわたった幅広い講演がありました。



講習会の開催状況

## 第6回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画推進連絡会議を開催

2月13日(火)に、「第6回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画推進連絡会議」を伊東市生涯学習センターひぐらし会館で開催しました。

この会議は、平成30年度に策定した伊豆東部火山群緊急減災対策砂防計画に基づく各種取組を推進するため、国、県、市の関係機関が集まり、調整や情報共有を図るものです。第6回の会議では、砂防計画に関する各機関の取組の進捗状況及び課題を情報共有しました。今後も定期的に会議を開催し、取組を推進していきます。



推進連絡会議の開催状況

# 募集・お知らせコーナー

## 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要項については、各小・中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小・中学生      【応募期間】 6月1日(土)～9月15日(日)  
 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。  
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
 静岡県交通基盤部砂防課 砂防班  
 TEL.(054)221-3044 FAX.(054)221-3564



詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/index.html>

## 出前講座・土砂災害防止講習会の開催募集

土砂災害に関する出前講座・講習会を開催しませんか? 県の砂防課や土木事務所の職員が講師として説明に伺います。お気軽にお問合せください。

- 【出前講座の対象】 小学生～高校生  
 【講習会の対象】 どなたでも  
 【開催日時】 相談ください



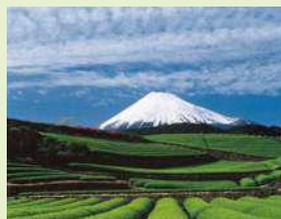
問合せ 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課  
 TEL(054)221-3044  
 E-mail sabo@pref.shizuoka.lg.jp

## 土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、随時出前講座および講習会を受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田土木	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	土屋勇太
熱海土木	TEL:(0557)82-9171 FAX:(0557)82-9110	櫻井俊彰 勝亦俊介
沼津土木	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	久保田紀子 森下元葵
富士土木	TEL:(0545)65-2217 FAX:(0545)65-2270	吉田耕介

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡土木	TEL:(054)286-9321 FAX:(054)286-9375	小田 匠 杉本直弥
島田土木	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	石川峻亮
袋井土木	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	大石理智
浜松土木	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	植野雄大 小沼佳記



【表紙写真】  
**茶畑と富士山**  
 (撮影地:富士市)  
 写真提供:静岡県観光協会  
 ※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

## 編集・後記

清明の候、皆様におかれましてはますます輝かしい春をお迎えのことと存じます。当協会も4月より新たな体制でスタートいたしました。今年度も砂防事業の周知・啓発に一層注力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。末筆ながら、皆々様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

全国治水砂防協会静岡支部 小杉祐子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/index.html>



第213号 発行日: 令和6年4月15日  
 編集・発行: 全国治水砂防協会静岡支部  
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内  
 TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk\_s@yahoo.co.jp